「手指の近位指節関節における短いヒモと掌側板の解剖学的研究」に関するお知らせ

このたび、埼玉医科大学に献体された方を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学倫理審査委員会の承認を得て、学長による許可のもと行うものです。

本研究では、ご遺族の方に追加でご負担をお願いすることはありませんが、肉眼解剖所見のデータ等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、ご遺族自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

2011 年 4 月～2013 年 8 月および 2022 年 10 月～2022 年 12 月の間に埼玉医科大学にご献体いただいた方を対象としております。

２．研究の目的

手指の関節のうち、指先から２つ目の関節（近位指節間関節）の手のひら側には、軟骨でできた掌側板という構造があり、近位指節間関節の過剰な伸ばしすぎを防ぐはたらきをしています。

また、近位指節間関節をまげる筋（浅指屈筋）から起こる腱ヒモ（短いヒモ）には血管や神経が通っているとされています。本研究では、短いヒモが、血管や神経の通り道という働きだけではなく、近位指節間関節をまげる際の掌側板の位置を変える働きと関係しているのではないかと

考え、近位指節間関節における短いヒモと掌側板の解剖学的関係について調べることを目的としています。

手指の近位指節間関節にみられる肉眼的構造を解剖学的に調べることによって、近位指節間関節の損傷に対する適切な固定肢位の確立、手の外科領域およびリハビリテーション領域における臨床応用へ貢献できることを目指しています。

３．研究期間

学長の許可後～2026 年 3 月 31 日

４．利用または提供の開始予定日

2023 年 12 月 1 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

肉眼解剖所見のデータ（スケッチ、写真）

この研究で得られた肉眼解剖所見の情報は、埼玉医科大学において、研究責任者である栗﨑知浩が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、ご献体いただいた方のプライバシーが侵害される心配はありません。

２．試料・情報の取得方法

手の第２～第５指の構造を観察したデータ（スケッチ、写真）を用います。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学医学部解剖学 栗﨑 知浩（研究代表者）
・埼玉医科大学医学部解剖学 永島 雅文
・埼玉医科大学医学部解剖学 藤田 恵子
・埼玉医科大学医学部解剖学 髙野 和敬
・埼玉医科大学医学部解剖学 市ヶ谷 武生

４．試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学医学部解剖学
栗﨑 知浩（研究代表者）

お問い合わせについて

本研究へのご協力を望まれない、あるいはご質問があるご遺族の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

ご協力を望まれない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

埼玉医科大学 医学部 解剖学
担当者：栗﨑 知浩
住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
電話：049-276-1144（解剖学直通）

〇研究課題名：手指の近位指節間関節における短いヒモと掌側板の解剖学的関係
〇研究責任（代表）者：埼玉医科大学医学部解剖学　栗﨑 知浩